山脈（やまなみ）　11月
森町立泉陽中学校だより
令和元年１１月２１日発行
教育目標「志をもち鍛える　たくましい生徒」　キャッチフレーズ「靴を揃え　背筋を伸ばし　返事はハイ」

令和元年１１月８日

泉祭〈文化発表会〉

校長　寺田敦朗

泉陽中学校の閉校まで、いよいよ144日です。そんな今日11月8日、泉祭当日を迎えました。ここまで準備を進めてきた推進委員の皆さん、本当にお疲れさまでした。またお忙しい中、お時間を作って御来校いただきました保護者・地域の皆様、三倉小学校の皆さん、本当にありがとうございます。

もう今更言うまでもなく、今日の泉祭は泉陽中学校にとって特別な意味を持つ泉祭です。その泉陽中学校最後となる特別な泉祭のために、後半でプロの演奏家お二人による音楽会を企画しています。そしてもう一人、今日は特別なゲストをお招きしています。

浜松出身の声楽家でオペラ歌手の黒田晋也さんです。黒田さんは、現在は東京にお住まいですが、泉陽中学校が創立50周年を迎えた際、合唱版校歌の編曲をお願いしたところ快く引き受けてくださり、編曲だけではなく合唱の指導にも何度も本校まで足を運んでくださいました。ミキホールでのCD録音や式典当日にも指揮をしてくださいました。

来年３月の閉校にあたり、今までの感謝の気持ちや閉校への思いを歌にしよう、ということで今年度生徒たちは学年ごとの閉校ソングを作詞・作曲してきました。その編曲も手がけてくださり、これまでに5回、東京からはるばる指導に来てくださいました。今日は合唱版校歌と閉校ソングの指揮をしてくださります。どうぞよろしくお願いします。

さて、今年度の泉陽中学校は「残す」「繋ぐ」を合言葉にして様々な教育活動を行ってきました。生徒の皆さんには昨日も話しましたが、泉陽中学校が閉校してしまうということは、泉陽中学校がこの世界から消えてしまうということです。建物は来年も再来年も残っているかもしれません。でもそこにもう泉陽中学校はないのです。

だから、私は残したいんです。この素晴らしい泉陽中学校を、こんなに頑張る生徒たちがいる、こんなに素晴らしい泉陽中学校の姿を、できるだけ多くの人に伝えて、知ってもらって、記憶に残したいんです。そしてその素晴らしい泉陽魂を、未来に繋ぎたいんです。

今日は生徒たちがそんな思いを込めて、閉校ソングを歌います。いかんせん少人数での合唱ですから迫力には多少欠けるかもしれません。でも、自分たちが生まれ育った地域やこの学校への感謝の思いを、歌に込めて精一杯歌います。

全校合唱の校歌は、まさにこの泉陽中学校のことを記憶に残してほしい、「残す」を表現します。「次の空へ」は未来へ、次の空へ繋ぐ思い、まさに「繋ぐ」です。先日森中学校の「ときわ祭」で披露した折には拍手が鳴り止みませんでした。生徒たちの思いは間違いなく森中学校の生徒たちには届いたようです。今日はそのとき以上に心を込めて歌います。

それでは、泉陽中学校最後の泉祭、「泉陽の笑顔咲き誇れ、It's笑タイム」･･･どうぞ皆さん、お楽しみください。

泉祭〈文化発表会〉

１１月８日（金）本校の体育館で泉祭〈文化発表会〉が開催されました。

今回の泉祭スローガンは、「泉陽の笑顔咲き誇れ～It’s 笑 time～」でした。小川祐佳さん、杉山京汰さんのアイディアをもとに実行委員会で決定しました。「泉陽中最後の泉祭」のように、閉校に向けて「最後の」と言われる行事が増えていくけれど、例年通り明るく、未来に向けて希望に満ちている様子を保護者や地域に届けたい、という思いが込められています。

第１部学習発表では、小川祐佳さんと渡邊有梨さんの英語によるスピーチが行われました。タイトルがそれぞれ、”Forever Senyo”、“Are All School Rules Necessary?” と、どちらもこれまでの学校生活やこれからの学校を思ったものであり、二人の学校に対しての思いが強く感じられるものでした。

第２部音楽発表では、泉陽中学校への感謝をテーマに各学年の生徒が作詞作曲した合唱曲、開校５０周年記念合唱版校歌、合唱曲「次の空へ」を披露しました。１年生は「泉陽に今ありがとう」、２年生は「HOPE」、３年生は「いつまでもそばに」、を曲名とし、学校を取り巻く自然や地域の魅力、学校の歴史や伝統、未来への希望を歌に込めて歌いました。泉祭に向けて、オペラ歌手の黒田晋也様に編曲や合唱指導で御協力をいただきました。また、全校合唱曲の「次の空へ」を制作したシンガーソングライター弓削田健介様を招いてコンサートを開きました。各学年の合唱曲は、様々な方の協力があって完成した合唱でした。泉祭までの練習では、自分たちで作った曲への愛情を感じたり、思いを伝えようと一生懸命に歌ったりする様子が見られ、泉祭スローガンのとおり、咲き誇る自信に満ちた笑顔がありました。

第３部音楽鑑賞では、バリトン歌手の菅谷公博様、ピアノ奏者の吉武優様の演奏に魅了されました。

ほぼ毎日行われていた昼休みや放課後の練習に取り組む態度から、閉校を悲しいものにしない、自信に満ちた姿を見ていただきたいという思いが伝わってきました。本番で、堂々と合唱を歌いきった生徒を誇りに思います。（泉祭担当　杉山稔泰）